

SNSで苑内の開花状況など最新情報をチェックしよう!



京都御苑 広報
@kyotogyoen_info



京都御苑 広報
@gyoen_info



京都御苑 中立売休憩所
@kyotogyoen_resthouse



2025年 京都御苑会員募集のお知らせ

■ 会員特典

1. 京都御苑NEWSの送付
2. 葵祭・時代祭の観覧席招待券進呈 (普通会员は会費4,000円以上の方)

■ 年会費

- 普通会员(個人)1,000円以上
- 賛助会員(会社・団体)10,000円以上

■ 申込・お問合せ

(一財)国民公園協会 京都御苑
☎ 075-211-6364

編集後記

2023年12月以来、約1年にわたって休刊していた京都御苑ニュースをこの度再開発行する運びとなりました。

誌面デザインも一新し、ウェブサイトやSNSとも連携、京都御苑を巡る魅力を発信していきますので今まで同様皆さま方のご愛読をお願いいたします。

『京都御苑NEWS』
バックナンバーなど



企画・発行/お問合せ先

一般財団法人 国民公園協会 京都御苑
〒602-0881 京都市上京区京都御苑3
☎ 075-211-6364

監修

環境省京都御苑管理事務所

制作・デザイン

nola株式会社



イベントのお知らせ

詳細はQRコードよりホームページなどをご確認ください。

京都御所

- 公開日 通年(事前申込不要/無料) ※月曜日、年末年始は休み
- お問合せ 【宮内庁京都事務所】 ☎ 075-211-1215



京都仙洞御所

- 参観方法 事前申込または当日受付 ※8:40から整理券を配布
- お問合せ 【宮内庁京都事務所】 ☎ 075-211-1215



京都迎賓館

- 参観方法 事前申込または当日受付 ※有料
- お問合せ 【迎賓館京都事務所】 ☎ 075-223-2301



京都御苑 - 自然ふれあいイベント -

- 【自然教室】 ※事前申込制
京都御苑を散策しながら四季の生きものを観察、専門講師が解説します。
- 【トンボ池一般公開】
自然豊かなビオトープ、「トンボ池」を期間限定で公開します。



苑内利用施設・サービスのご案内

詳細はQRコードよりホームページなどをご確認ください。

閑院宮邸跡収蔵展示館/京都御苑総合案内所

- 開館時間 9:00~17:00 ※展示室は16:30まで 無料
- 休館日 年末年始 ※展示室は月曜日閉室



拾翠亭 - 茶室 -

- 公開日 木・金・土曜日 9:30~15:30
- 参観料 300円 ※中学生以下無料
- 貸切利用 茶会など(公開日除く) ※要事前申込(有料) ※無料



京都御苑情報館

- 開館時間 9:00~16:30

休憩所 - レストラン・売店 -

- 【中立売休憩所「檜垣茶寮」】
- 営業時間 9:00~16:30
- 定休日 無休(年末年始を除く)



【近衛邸跡休憩所「SASAYAIORI+京都御苑」】

- 営業時間 10:00~16:30
- 定休日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)・年末年始

【富小路休憩所】

- 営業時間 9:00~16:30 ■ 定休日 無休(年末年始を除く)

運動施設

- ※要事前申込(有料)
- 【富小路テニスコート】
- 【富小路広場/今出川広場】



駐車場

- ※夜間バス利用可能
- 【中立売駐車場】 乗用車/バス併用
- 【清和院駐車場】 乗用車専用



京都御苑の魅力を発信
京都御苑 NEWS
楽しむ・知る 御苑の歴史と自然

京都御所と人形

有職御人形司十二世/伝統文化保存協会理事長 伊東 久重

御所人形は、江戸時代に宮中でその品格と愛らしさを誉め讃えられた幼子の人形で、四季折々の節句の御祝いや御結婚、御出産など、さまざまな御慶事の際に飾られた。また朝廷を訪れる方々の御下賜品として使われるなど特別な歴史をもつ人形であった。明治時代になり宮中や公家、門跡寺院など京都の御所にゆかりの深い人々の間で愛され、京都御所から広がった人形であることから御所人形という名称が使われるようになった。

私の家は、江戸時代享保年間に「御人形細工師初代柵屋庄五郎」を名乗り京都市中で人形作りを始めた。その後、御所人形の制作技法を確立した三代目庄五郎は、明和4年(1767)に後桜町天皇より宮中出入りの御所人形司として「有職御人形司伊東久重」の名を賜り、それ以後当主は伊東久重を名乗る習いとなっている。寛政2年(1790)には光格天皇より「入神の作に捺すように」と天皇家の御紋である十六葉八重表菊紋印を拝領。これらの榮譽に恥じることなく、代々の者が御所人形の制作技術の研鑽を重ねてきた。

昭和天皇の御即位には曾祖父が、上皇陛下の御即位には



1.十六葉八重表菊紋印 寛政2年、光格天皇より拝領
2.御所人形「春の御子」 平成5年、天皇陛下御成婚の際に制作

国民公園協会京都御苑広報誌

京都御苑NEWS vol.159 2025年 3月1日 発行

-CONTENTS-

- 巻頭記事
京都御所と人形
- art gallery
安野光雅が描いた京都御苑の花
- 京都御苑のご近所さん
「香りある暮らし」の発信拠点として
一松栄堂 薫習館一
- 京都御苑の自然シリーズ
京都御苑の植物たち
- 京都御苑を支える仕事の紹介
御苑の名木を再生する



五節の舞 平成22年、京都御所春の特別公開に制作。小御所に展観

祖父が、私も天皇陛下と秋篠宮皇嗣殿下の御成婚の際に御所人形を御用命賜り大変光栄なことと喜んでいる。

京都御所の特別公開の折、清涼殿や小御所に等身大でその当時の儀式や行事を再現する時代風俗人形が飾ってある。京都御所が昭和22年(1947)から春と秋に一般公開されることとなり、御所の儀式や行事を人形で再現することになった。この人形の制作を宮内庁から依頼された祖父は大変喜んだと聞いている。わが家にとって御所は特別な存在で、その御殿に飾られる人形を作ることは何よりも光栄なことであった。

祖父の死後、私はその思いを受け継ぎこの人形を作って50年になる。御所人形の伝統の技法を使って制作、最後に髪の毛を植付け結髪する。これに装束を着付け冠や扇子などをつけるが、儀式や四季折々の行事、また老若男女によって装束などが異なる。宮廷文化の中心であった京都御所は見学者も多様である。間違いがあってはいけないので公開前に御所の方と打ち合わせを重ねる。真摯な心で準備をされる御所の方々の姿にいつも頭が下がる思いである。

art gallery

安野光雅が描いた京都御苑の花

画家・安野光雅は、京都御苑を彩る植物の絵を30点近く描いています。ここではそれら絵の中から毎号いくつかをお届けします。



サクラ
©空想工房
出典:「産経新聞2019年5月5日」掲載



エゴノキ
©空想工房
出典:「安野光雅 洛中洛外 令和三年カレンダー 京都御苑の花」(産経新聞社発行)掲載

安野 光雅 あんのみつまさ
画家・絵本作家 (1926年~2020年)
絵本作家としてデビューとなった「ふしぎなえ」は世界中で好評となった代表作。
国際アンデルセン賞など国内外の多くの賞を受賞。
文化功労者

京都御苑の自然シリーズ 京都御苑の植物たち

京都自然観察学習会代表 / 神戸教育短期大学名誉教授 **片山 雅男**

京都御苑の誕生

京都御苑は京都の市街地の中央部にあり、平安京の東北端に位置している。賀茂川と高野川の氾濫原で砂礫が厚く堆積し、高燥地であったため古くから人々が居住していた。平安時代末に里内裏の土御門東洞院殿が設けられ、室町・江戸時代に拡充され、江戸時代末には御所を取り巻いて宮家や公家の屋敷が立ち並んでいた。

明治2年の東京遷都で空き家となったこれらの屋敷は取り壊され、明治10年の大内保存事業で苑地化された。樹林やマツと芝生の苑地もこの時造成された。明治13年、御苑の外周に石垣土塁が完成した。今では、土塁上のウバメガシの生け垣と、エノキやムクノキ、ケヤキの巨木の結界によって静寂な空間が作り出されている。

公家屋敷の庭園の利活用

公家屋敷の多くは取り壊されたが、九條邸や近衛邸などの庭園の植栽や池などは残された。人工的に造られたこれらの池と出水の小川は、砂礫地の御苑にあって、貴重な水辺環境となっている。近衛邸跡には、シリブカガシ、ムクロジ、タラヨウやギンモクセイなどが見られる。九條邸跡には、カゴノキやイヌマキ、オカメザサ、ホトトギスなどが生育する。明治天皇の生誕地である中山邸跡は、クロガネモチやイチヨウが象徴的であるが、カヤやゴヨウマツ、バショウなども見られる。

マツ類の樹林地と芝生

御所の周辺や苑路沿いには、マツ類の樹林地と芝生が見られる。マツはアカマツが多く、御所透かしと呼ばれる剪定が施され、御苑特有の景観を作っている。針葉樹ではモミ、ツガも多

く、芝生には、カンサイタンポポやシロツメクサなどが多い。

樹林地

御苑の外周や、苑内各所には、エノキ、ケヤキ、ムクノキの高木などが生育する樹林地が見られる。樹齢300年以上の個体もあるが、多くは、明治20年前後の植栽である。最小限の手入れにより、自然度が増して沖積地の極相林へと遷移が進んでいる。カシ類やシイ類、低木にはカジノキ、イヌビワなどが、林床にはキンミズヒキ、ヤブミョウガなどの多くの草本が生育している。

里山の植生

京都迎賓館の北には、「母と子の森」、西に「バツタが原」、東に「コオロギの里」として、京都周辺の里山を模した林が造られている。コナラやクヌギ、アベマキなどを中心に多くの樹木や草本が生育し、バードバスでは野鳥の観察も行われている。

トンボ池

御苑の東南部の人工の池である。地面を掘り下げシートを敷き、九條池の浚渫で出た泥土で覆った。泥土中の種子由来の植物や新たに侵入した植物が繁茂し、今では昆虫やクモ類、モリアオガエルなどの生息する自然豊かな池になっている。

最後に

こうして作りだされた京都御苑の多様な植生環境は、動物や菌類たちに好ましい生育環境となり、市街地にありながら高い生物多様性を創出している。散策、写真、スケッチ、自然観察など、身近な自然をいろいろなふれあい方で楽しんでいただきたい。



御苑内では四季ごとに自然教室が開催され、さまざまな身近な生きものを観察する

京都御苑のご近所さん

「香りある暮らし」の発信拠点として — 松栄堂 薫習館 —

香老舗 松栄堂 薫習館チーフマネージャー **寺本 茂正**



烏丸通に面する松栄堂 薫習館

江戸中期に商いの道を興した松栄堂は、御所の主水職を務めた三代目畑守経の頃、本格的にお香作りに携わりました。本店の南側を走る二条通は、お香とも関係の深い和漢薬の間屋や小売店が並ぶすりの町です。薬種の神様・神農さんをお祀りする薬祖神祠も歩いてすぐの場所にあり、この地でお香の製造ができるご縁も有り難いことです。

2018年に本店の隣に開設した「薫習館」では、貴重なお香の原料の香りを体験できる仕掛けや、お香にまつわる体験イベントや季節のディスプレイ・松栄堂所蔵の香道具や資料の展示など、多彩な切り口で香りの世界に触れていただく試みを続けています。

「薫習」とは仏教のことばで、毎日お香をたくと、知らず知らずのうちに芳香が身に染みこむさまになぞらえて、お釈迦さまの教えに日々向き合う尊さを説いたものです。

これにあやかり、私どもが折々にお届けするちょっとした提案が、お客様の暮らしを香り豊かに彩るヒントになればと願っております。



1.お香の原材料の香りを体験できる「香りの柱」
2.3つの異なる香りを体験できる「かおりBOX」

香老舗 松栄堂 薫習館

●京都市中京区烏丸通二条上ル東側
◎10:00-17:00(不定休)
<http://www.kunjyukan.jp/>

— 京都御苑を支える仕事の紹介 —

御苑の名木を再生する

国民公園協会 京都御苑
植生管理チーム



京都御所や京都迎賓館を除いた、いわゆる公園エリアである京都御苑は面積が約65ヘクタールもあり、樹木だけでも約10万本あると言われてます。私たち国民公園協会のスタッフは御苑を所管する環境省からの委託を受けて、これらの苑内の樹木の剪定や危険な枝の処理など樹木や植物の維持管理を行っています。

御苑内には公家ゆかりの名木もあり、もと九條邸内にあつて英照皇太后もご覧になっていた「黒木の梅」や後水尾天皇が御車を引き返してまで愛でたという「車返桜」など有名です。これらの名木は相当年月経っていることから徐々に衰えが目立つようになってきており、樹勢を回復し再生する土壌改良を行うとともに後継樹を育てるなど、いつまでもこれらの名木と御苑で出会うように日々奮闘しています。



京都御所宜秋門前の車返桜。土壌改良の試み